

公益社団法人 私立大学情報教育協会
平成26年度 第4回産学連携推進プロジェクト委員会議事概要

- I. 日 時：平成26年12月22日（月）10時 ～ 11時45分
- II. 場 所：アルカディア市ヶ谷 私学会館 会議室（7F 鳥海）
- III. 参加者：向殿委員長、大原副委員長、東村委員、田辺委員、白崎委員、辻村委員、井上委員
齋藤アドバイザー、青木アドバイザー、吉永アドバイザー、桑原アドバイザー（代理）、室田アドバイザー（代理）、
中塚アドバイザー、岸アドバイザー（代理）
井端事務局長、森下、岡本（記録）
- IV. 資 料： 1. 未来を切り拓く志を支援する「社会スタディ」の参加募集
2. 「社会スタディの場」映像公開についてのアンケート回答
3. 「第6回産学連携人材ニーズ交流会」開催要項(案)
4. 平成26年度後半「大学教員の企業現場研修」3社（日本電気、内田洋行、日立製作所）の研修概要について
5. 参考資料1～2：日経新聞 2014年4月30日 経済産業省 江口情報処理振興課長
「ITの利活用と課題」対談記事
3：日経産業新聞 2014年1月24日 栄藤稔(NTTドコモ執行役員)
「ITにデザイン思考を」
4：日経新聞 2014年10月17日 「ビッグデータ先読みの武器」
5：日経新聞 2014年 9月18日 「高度人材育成 探る」
「教育再生会議 3分科会 検討課題（案）」

V. 検討内容

前回委員会の議事録を確認後、審議に入る。

1. 「社会スタディの場」の開催内容について

事務局より資料に基づき「社会スタディの場」開催内容について、前回委員会での決議事項を踏まえ、審議の結果以下の通りとした。

(1) ネット上での公開について

資料2の「社会スタディの場」映像公開についてのアンケート回答結果を基に説明があり、回答のあった20名全員が「個人情報に配慮して編集すれば公開することに問題ない」とした結果の報告があった。

上記の結果を参考に審議した結果、個人情報に留意し参考となる質疑応答の場をネット上に公開することとし、発言者を特定しないよう遠景で背景からの撮影として編集することを確認した。なお、グループ討議の場面は公開しないこととした。

(2) 応募者の小論文審査小委員会の委員選出について

前回委員会にて設置が承認された小論文審査小委員会の構成委員2名の選出について審議した結果、向殿委員長に一任することで承認された。

なお、構成委員については、委員長、副委員長、委員、事務局長の5名程度とし、審査を1月16日から1月23日までとした。

2. 「第6回産学連携人材ニーズ交流会」について

事務局より資料に基づき「第6回産学連携人材ニーズ交流会」開催要項(案)について説明があり、審議の結果、理解しやすい文書表現の修正が必要であることから本資料を第一次原案とし、再構成し発信することが承認された。

また「基調講演」、「問題提起」の講師選出に関わる背景について参考資料1～5を基に説明があり、3段階の内容（①情報技術と国のかかわり ②ICTの分野横断型の総合構成の必要性 ③ビッグデータの活用—分析、構想力・価値創造—）で企画・立案した旨の説明があった。

3. 平成26年度後半の「大学教員の企業現場研修」について

事務局より資料に基づき、平成27年2月、3月に開催する3社（日本電気、内田洋行、日立製作所）の研修概要について説明があった。

審議の結果、表現の工夫が必要であることから研修概要(案)の文書を再考し、修正後に募集案内を発送することとした。

4. その他

(株)内田洋行の吉永アドバイザーから「社会スタディの場」の会場準備の都合上、「クリッカー」の使用の有無について早めに判断してほしいとの要請があった。

以上